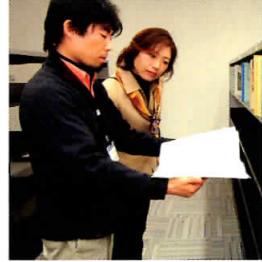


## 市民活動サポートセンター

施設内容：ミーティングスペース、交流スペース、パソコンコーナー、印刷作業室、多目的展示コーナー、掲示ボード、書籍・資料コーナー  
所在地：さいたま市浦和区東高砂町11-1（コムナーレ9階）  
TEL:813-6400 FAX:887-0161  
URL:<http://www.saitamacity-support.jp>  
開館時間：9:00～21:30  
休館日：年末年始（臨時に休館することもあります）



市の市民活動団体などの資料が閲覧できる資料コーナーについて説明する三浦さん



市民活動サポートセンターのこれからについて話す福島さん

**3層の屋上庭園**  
また、「コムナーレ」の屋外は屋上庭園となっており、8階と9階は憩いの空間として市民にも開放されています。「8階の中央図書館前には、外の空気を吸



センターのホームページを見ながら説明する大工原さん

の目線にたって積極的に話し合つていい意気込みを感じました。利用者のニーズに的確に応えて、市民と共に施設を盛り上げていきたい」と話しています。



コミュニティ広場としての機能も兼ねる市民広場

**オープンの準備には2年余という歳月が**  
「整備計画検討当初から何十人の市民がワークショップに参加して、行政とともに”どのような使い方をするか”などういうサービスが良いのか”など議論を重ねました。施設の運営については、より踏み込んだサービスを提供するため、実際に市民活動を行っている団体が行政と協働で携わることになりました」と三浦さん。また、ワークショップ参加者の福島さんは、「サポートセンター」という施設が完成した今後はどんなサービスを提供するかが重要です。市民の目線にたって積極的に話し合つていい意気込みを感じました。

ことを期待しています。」

## サポートセンター ホームページ

市民活動サポートセンターは、ホームページでも積極的に情報を発信しています。活動をしている方だけでなく、これから活動したい人はもちろん地域や市民活動に関心のない人にも積極的に情報を提供して、地域社会と市民のネットワークが豊かに広がっていくために役立ちますね」と話すのは、ワークショップの情報支援プロジェクトチームのリーダーとしてホームページの立ち上げに取り組んだ大工原さん。ホームページには、団体を登録して活動内容を開くことができるそうです。

皆さんもグループやサークル活動を登録して情報を発信してみてはいかがですか。

**駅前に市民の憩いの空間が出現**  
再開発ビルの前に、ゆったりとした市民広場が広がりました。「ここは、待ち合わせや休憩の場だけではなく、各種イベント、ストリートミュージシャンなどの活動の場としても広く活用できます」と瀧さん。周囲には四季を彩る植栽スペースや壁面緑化が施され、環境共生への配慮が見られます。また、防災機能としても役立ち、ウッドベンチの一部は「かまど」として利用できるほか、公衆トイレの屋根の雨水を集めて水槽に貯めているそうです。



コミュニティ広場としての機能も兼ねる市民広場

探検の和を広げ、多くの人にその楽しさを経験して欲しいと思います。今度は子供といっしょに1日ゆっくりとここで過ごす予定でいます。

## FROM 浦和駅東口再開発

# 東口に新たなランドマークが誕生

今回は、「コムナーレ」にお伺いしました。再開発ビルの8階と10階にあり、「中央図書館」「浦和コムナーレ」「市民活動サポートセンター」「市民活動サポートセンター」は「市民活動の推進、市民と行政の協働」の拠点となる施設です。

## 市民活動サポートセンター

エレベーターを降りると、フロア全体に明るく日が差し、ガラスの向こうは緑の芝生。広々とした空間に驚かされます。はじめに、この施設の管理



入り口に設置されている案内板。何がどこにあるかがひと目でわかる



開放感のあるミーティングスペース。いくつかの組合せができるよう、机の形状も工夫されている



市民リポーターがまちづくりの現場を見に行く「まちリポ」。今回訪れたのは、平成19年10月にオープンした東口再開発ビル。賑わう商業施設の上層階には、複合公共施設「コムナーレ」があり、屋外には、市民の憩いの空間として屋上庭園が広がります。まち探検が大好きで浦和に来て4年になる平澤さんがこれらの施設をリポートします。



平澤  
い  
ず  
み  
浦和区在住。中学生と小学生のお子さんをもち、子供が通う小学校の50周年記念事業で、記念誌づくりを担当しています。「自分たちの住んでいるまちや人を知ることで、そのまちへの愛着がわいて、大切にしようと思うようになります。そういうメッセージを記念誌づくりのなかで子供たちに伝えていきたい」。趣味は身近なまち探検で、お休みの日は子供たちと一緒に発見を求めてまちを探していきます。